2026年JAF四国ダートトライアル選手権第６戦
2026年JMRC四国ダートトライアルシリーズ第６戦

# つるぎアルペントライアル　２nd　２０２６

主　　催：ラリークラブつるぎ（TSURUGI）　　開 催 日：2026年9月27日
場　　所：三好グラベルパーク　　レポート：JMRC四国　広報担当

## PN+クラスは一色健太郎選手が優勝してチャンピオン獲得！
## SD1クラスは坂本幸洋選手、SD２クラスは細木智矢選手が優勝
## SD2クラスは谷正史選手がチャンピオン獲得！

全６戦で争われる今年のJAF四国ダートトライアル選手権もついに最終戦。 SD1クラスは前戦でチャモロ選手がチャンピオンを決めているが、PN＋クラスとSD2クラスはチャンピオン決定が最終戦までもつれ込んでいる。11月には西日本ダートフェスティバルがここで開催されることもあってか、最終戦には、他地区からも多くにエントリーがあり、 選手権外クラスを含めると64台（出走62台）と近年にはない台数でのイベントとなり 大いに盛り上がった。 PN＋クラスは、これまで２勝でシリーズをリードしている一色健太郎選手が第１ヒートでトップタイムをマーク。路面コンディションが改善した第２ヒートに入るとタイムアップが続き第１ヒートの一色選手のタイムは５選手に更新されたが、クラスラストゼッケンの一色選手は見事にトップタイムを奪還。シリーズ３勝目とシリーズチャンピオンを決めた。 ２位には井上翔太郎選手、 ３位には松原久選手とチャンピオンの可能性があった選手が入り、シリーズ順位も井上選手が２位、松原選手が３位となった。SD1クラスは今シーズン四国地区戦初参戦の中国地区の坂本幸洋選手が優勝。チャモロ選手が２位、第１ヒートをリードした松岡竜也選手が３位となった。SD2クラスには全日本トップドライバーの細木智矢選手が参戦。シリーズ争いは、これまで、２勝をあげている谷正史選手がリードしており、丸本光選手と梶田昌弘選手が１勝で追いかけているが、丸本選手と梶田選手がチャンピオンとなるためには優勝が最低条件のため、細木選手の参戦は谷選手にとっては追い風に。細木選手は、第１ヒートこそコースを間違えかけて低迷したものの、第２ヒートで大幅なタイムアップを果たして優勝。丸本選手が２位、谷選手が３位、梶田選手が４位となり、谷選手がシリーズチャンピオンを獲得した。谷選手は「カッコ悪い決め方」と言いながらもチャンピオン獲得を喜んでいた。なお、シリーズ２位は丸本選手、３位は梶田選手となった。



PN＋優勝の一色健太郎選手


SD1クラス優勝の坂本幸洋選手



SD2クラス優勝の細木智矢選手



SD2クラスチャンピオン獲得の谷正史選手



PN＋クラス表彰



SD1クラス表彰



SD2クラス表彰



クローズドクラス表彰（選手権対象外）



オープンクラス表彰（選手権対象外）



レディースドライバー特別表彰